

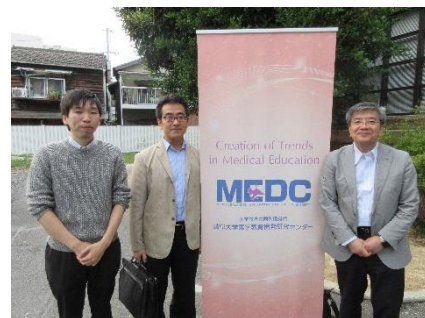
日ごとに秋も深まり、枯葉舞う季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？  
朝晩は冷え込む日も多くなりましたので、風邪など引かれませんか様、ご留意下さい。



## 『人間を全人的により深く理解しようと試みる 行動科学の導入とそのアウトカム』と題した医学教育ワークショップに参加しました。

10月14日(土)に岡山大学(鹿田キャンパス)において第66回 医学教育セミナーとワークショップ in 岡山大学が開催されました。まず、オープニングでは、曹源寺副住職の堀口宗彦さんによる、『座禅で感じる、医療現場におけるマインドフルネスの重要性』と題したセッションが開催され、堀口副住職の指導の下、実際に座禅を行いました。姿勢を正し、腹式呼吸を行う重要性を述べておられました。実際に指導を受けて座禅を行ったのは初めてで、貴重な体験となりました。続いて、各ワークショップが開催され、『人間を全人的により深く理解しようと試みる 行動科学の導入とそのアウトカム』と題した医学教育ワークショップに参加しました。現在、国際認証に向け、多くの医学部がカリキュラム編成を行い、行動科学のプログラムを取り入れています。行動科学は、「患者との人間関係」や「人間の価値観」を巻き込む領域であり、学部教育さらには卒業教育においても重要となっています。その学修目標は、健康増進や疾病予防、医療における様々な具体的な事例を元に様々な角度・視点から心理や行動原理を科学的に理解し、医師としての言動・行動を学び、それらを実践できる力を身に付けることです。今回のワークショップでは、まず、広島大学、日本医科大学、愛知医科大学の先生方から、各大学のカリキュラムの中での行動科学の位置づけや現在行っている取り組みをご紹介頂きました。その後、5~6名から構成されるグループに分かれ、医学部の低学年、臨床実習前、卒業時、初期研修終了時における「行動科学のアウトカムとマイルストーンについて」、「行動科学のカリキュラムと評価について」ディスカッションを行いました。限られた時間でしたが、グループは様々な医療系の大学教員のみならず、病院に所属している医療関係者や医学部生で構成されており、多方面から議論でき、お互いに新たな気づきもあったのではないのでしょうか？

今回のワークショップでは、医学教育における行動科学の重要性やその現状と課題について学ぶことができました。今後、本医学部の専門教育において行動科学(行動医学)を導入していく際に大いに参考にしたいと思います。



## 岡山大学医学部5年生によるインフルエンザ予防接種の視察報告

10月25日(水)に、岡山大学医学部付属病院で実施されている職員対象のインフルエンザ予防接種の見学に行ってきました。岡山大学では数年前から、医学教育(プロフェッショナリズムやスキルの獲得)の一環として、医学生(Student doctor:SD)による接種が行われています。実施するのは臨床実習(ポリクリ)中の医学科5年生で、開始当初は有志数人だったようですが、現在では接種日毎にポリクリ班単位で分担を決め、1シーズンで全員が実施するようスケジュールが組まれています。この日も、10名前後の学生が集まって準備を始めていました。問診票の確認と接種許可は医師が行いますが、その他の手技は全て監督下に学生自身の手で行われます。実施にあたっては、まず教員が具体的な手技や器材・薬剤の管理を指導し、数回のシミュレーションを行いました。最初は慣れない手つきでしたが、すぐに会得し、万全のリハーサルの上で待ちました。開始時間になると、多くの職員の皆様が問診票を持参して入ってこられました。問診票には、SD接種への同意も記載されています。一応、SDによる接種に同意されない方のために、看護師による接種のブースも小さく設けられていますが、そちらは少数で、意外と大半の方が躊躇無くSD接種の列に並ばれ、次々と接種を受けていました。中には、並ぶ時間が短くて済むなどの理由もあるようですが、SD接種の取り組みが広く浸透していることが感じ取れました。この日は数多くの職員がSDによる接種を受け、「痛くなかった」、「ありがとう」、「頑張っ」など声をかけられ、視察中に特別トラブルはありませんでした。実際、SD接種による大きな問題はこれまでに発生しておらず、接種の列が増えたことで待ち時間が短縮化されたなど、メリットもあったと聞きました。なお、SD接種の実施にあたっては、附属病院や医学科をはじめ関係各所との調整が必要だったものの、各々の全面的なバックアップを得て実現し、今日まで発展しているとのことでした。

平成28年度改訂版の新モデル・コア・カリキュラムでは、診療参加型臨床実習の強化がいつそう求められており、医学生に許容される医行為の範囲内でいかに実技を経験させるかが課題です。山口大学医学部医学科における更なる実習の充実化のため、また今後分野別評価(いわゆる国際認証)を受けるにあたっての教育体制整備強化のためにも、この取り組みを参考にし、更なる医学教育の充実化を皆で考えていきたいと思えます。



## 第112回 医師国家試験出願説明会を開催しました。

11月2日(木)に第112回 医師国家試験出願説明会を開催しました。学務課での出願書類確認期間は、11月10日(金)の午前と午後を予定しています。医師国家試験の日程は、平成30年2月10日(土)、11日(日)となっており、今回から試験期間が3日間から2日間に短縮されます。国試に向けて多忙な日々が続くと思いますが、体調には十分気を付けて、しっかり頑張ってください。来春、皆さんに吉報が届くのを祈念しています。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ  
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp